塩入　俊樹

現在、岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野教授。昭和62年3月滋賀医科大学医学部医学科卒業。平成3年3月滋賀医科大学大学院医学研究科修了。平成3年4月滋賀医科大学医学部附属病院助手に採用。平成8年3月日本学術振興会海外派遣研究員(COE)としてカリフォルニア大学アーバイン校精神医学講座留学（Visiting Professor)。平成10年11月新潟大学医学部附属病院助手に転任。平成11年7月新潟大学医学部附属病院講師に昇任。平成12年8月新潟大学医学部精神医学講座助教授に昇任。平成18年4月新潟大学災害復興科学センターこころのケア分野チームリーダー(兼任)。平成19年8月新潟大学医学部附置こころの発達医学センター准教授(兼任)。平成20年6月岐阜大学大学院医学系研究科神経統御学講座精神病理学分野教授、現在に至る。

所属学会：日本生物学的精神医学会(評議員)、日本精神科診断学会(評議員)、日本統合失調症学会(評議員)、日本不安障害学会(評議員)、日本うつ病学会(評議員)、日本運動器疼痛学会(評議員)

専門分野：パニック障害、不安障害、気分障害、脳機能画像、自律神経検査、自殺予防、災害精神医学

主な著書等：「DSM-5　ケースファイル.(医学書院、2015)」、「不安障害診療のすべて.(医学書院、2013)」、「DSM-IV-TRケーススタディ：鑑別診断のための臨床指針.（医学書院、2004)」、「DSM-IV-TR治療ケースブック治療編.（医学書院、2006)」他。

鈴木　伸一

現在、早稲田大学人間科学学術院教授(専門行動療法士、医療心理士、臨床心理士)。東京女子医科大学心理士、綾瀬駅前診療所心療内科心理士、岡山県立大学保健福祉学部専任講師、広島大学大学院心理臨床教育研究センター助教授、早稲田大学人間科学学術院准教授を経て、2010年より現職ならびに医療法人和楽会心療内科・神経科赤坂クリニック心理士を兼務。

所属学会：日本行動療法学会常任理事、日本認知療法学会幹事、日本行動医学会理事、日本ストレス学会評議委員、日本循環器心身医学会理事他。

専門分野：認知行動療法、行動医学、臨床ストレス科学。最近の主な研究・実践活動としては、うつ病および不安障害の認知行動療法と復職支援、がんや心疾患をはじめとする重症身体疾患患者のメンタルケアとそのシステムの構築など。

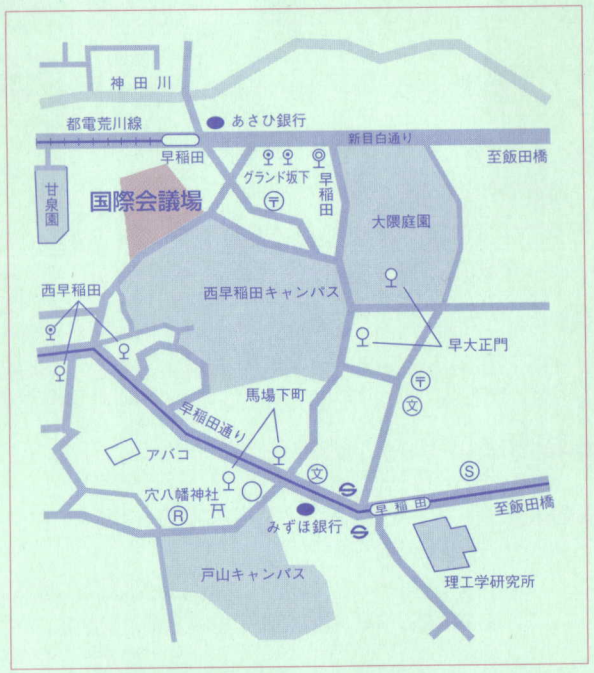
主な著書等：『実践家のための認知行動療法テクニックガイド』（北大路書房)、『うつ病の集団認知行動療法実践マニュアル』（日本評論社)、『うつ病の行動活性化療法』（日本評論社)、『社交不安障害』（金剛出版)、『学校,職場,地域におけるストレスマネジメント実践マニュアル』（北大路書房)、『慢性うつ病の精神療法』（医学書院)他。

会場案内

早稲田大学国際会議場

〒169-0051　新宿区西早稲田1-20-14
TEL 03-5286-1755　FAX 03-5272-2063

〈アクセス〉
地下鉄東西線「早稲田」駅　徒歩8分
都電荒川線「早稲田」駅　徒歩3分



共　催：NPO法人　不安・抑うつ臨床研究会
持田製薬株式会社

事務局：医療法人和楽会
心療内科・精神科　赤坂クリニック
〒107-0052　東京都港区赤坂3-9-18　BIC赤坂ビル6F
TEL 03-5575-8198　FAX 03-3584-3433
ホームページアドレス：http://www.fuanclinic.com
E-Mail：waraku@fuanclinic.com

不安の医学
第23回都民講演会

テーマ
「不安症について
～不安・緊張をどのように凌ぐか」

平成28年2月28日(日)
早稲田大学国際会議場

不安の医学
第23回都民講演会

— テーマ —

「不安症について
～不安・緊張をどのように凌ぐか」

日　時	平成28年2月28日(日) PM1:30開演(開場 1:00)
場　所	早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール
入場料	無料

<はじめに>

NPO法人不安・抑うつ臨床研究会と持田製薬株式会社共催で、第23回都民講演会を2016年2月28日(日)に早稲田大学国際会議場で13時より開催します。今回のテーマは「不安症について—不安・緊張をどのように凌ぐか」とし、専門家にやさしく解説してもらいます。「不安」は「うつ」と同等かそれ以上に多くの人々を悩ませています。最近の研究で「不安」のメカニズムや対処法、さらに予防法などが解明されてきました。人前で緊張しやすい人、対人恐怖、あるいはパニック発作を繰り返す人は、将来的に引きこもり、アルコール依存、うつなどへ発展する可能性が高いという報告もあります。しかし、早期に正しく診断され適切な対応を得られれば、多くの問題は解決されることもわかってきました。「不安」はヒトにとって大変重要なテーマです。

平成28年　如月　吉日

プログラム

オルガナイザー：久保木富房
楽山病院　名誉院長、東京大学　名誉教授

●PM 1:30～　はじめに

久保木富房
楽山病院　名誉院長、東京大学　名誉教授

●PM 1:40～
「不安症総論」

演者／熊野　宏昭
早稲田大学人間科学学術院　教授
司会／樋口　輝彦
独立行政法人　国立精神・神経医療研究センター　総長

●PM 2:30～
「社交不安症について
—— 不安感が強くて人付き合いに
苦痛を感じることはありませんか?—— 」

演者／朝倉　聡
北海道大学大学院医学研究科精神医学分野　准教授
司会／竹内　龍雄
帝京大学　名誉教授

●PM 3:20～3:40　休憩

●PM 3:40～
「パニック症を中心に」

演者／塩入　俊樹
岐阜大学大学院医学系研究科精神病理学分野　教授
司会／貝谷　久宣
医療法人和楽会　理事長

●PM 4:30～
「不安症をどのように凌ぐか
(認知行動療法を中心に)」

演者／鈴木　伸一
早稲田大学人間科学学術院　教授
司会／野村　忍
早稲田大学人間科学学術院　教授

●PM 5:20～　閉会の言葉

貝谷　久宣
医療法人和楽会　理事長

演者の紹介

熊野　宏昭

現在、早稲田大学人間科学学術院教授。1985年東京大学医学部卒。1995年東北大学大学院医学系研究科人間行動学分野助手。2000年東京大学大学院医学系研究科ストレス防御・心身医学助教授・准教授。2009年早稲田大学人間科学学術院教授、早稲田大学応用脳科学研究所所長を兼任。2013年より、日本行動療法学会(2014年より、一般社団法人 日本認知・行動療法学会)理事長。マインドフルネスやアクセプタンスなどの技法を含む「新世代の認知行動療法」について、特に医療場面で短期間で大きな効果を上げることを目指した研究を行っている。臨床面では、綾瀬駅前診療所、赤坂クリニックなどにおいて、不安障害、うつ病、摂食障害などを対象に、薬物療法や面接治療に加え、認知・行動療法、アクセプタンス＆コミットメント・セラピー(ACT)、マインドフルネスなどの行動医学的技法を用いている。

主な著書等：新世代の認知行動療法／日本評論社、マインドフルネスそしてACTへ／星和書店他。

朝倉　聡

現在、北海道大学大学院医学研究科精神医学分野准教授。平成5年北海道大学医学部卒業。平成5年北海道大学医学部精神医学講座入局。平成13年北海道大学大学院医学研究科精神医学分野助手。平成16年北海道大学保健管理センター講師。平成22年北海道大学保健センター准教授(4月)。北海道大学大学院医学研究科精神医学分野准教授(7月)、現在に至る。

所属学会：日本精神神経学会、日本児童青年精神医学会、日本精神科診断学会、日本不安症学会など

主な著書等：大学のメンタルヘルスの現状と課題、そして対策(共著)(全国大学メンタルヘルス研究会)、精神・心理機能評価ハンドブック(共著)(中山書店)、重症化させないための精神疾患の診方と対応(共著)(医学書院)、不安障害診療のすべて(共著)(医学書院)、精神医学キーワード事典(共著)(中山書店)、子どもの心の処方箋ガイド(共著)(中山書店)、学生と健康(共著)(南江堂)、子どもの不安障害と抑うつ(共著)(中山書店)、今日の診断指針第6版(共著)(医学書院)、ストレス疾患ナビゲーター(共著)(メディカルレビュー社)、専門医に学ぶこころのケア(共著)(メジカルビュー社)、SSRIとSAD(共著)(ライフサイエンス)、社会不安障害治療のストラテジー(共著)(先端医学社)、EBM精神疾患の治療2006-2007(共著)(中外医学社)他。